

スーパースマイル

2014年秋号 (vol. 79) くしま矯正歯科通信
545-0011 大阪市阿倍野区昭和町 1-21-22 徳山ビル 4F
TEL 06-6628-8148 FAX 06-6627-0878
info@kushima-ortho.com <http://www.kushima-ortho.com>



真っ青な空のもと、気持ちの良い季節になりました。散歩しても運動をしても爽やかですね。毎年9月から11月にかけて 特に矯正関係の学会が続けてあり、それらに参加しています。

アレキサンダ-研究会30周年記念大会がありました。

当院の治療の根幹をなしているのが 院長が続けてきているアレキサンダーテクニックです。全国の矯正治療の歯科医師でこの治療法の勉強をしてきたアレキサンダー研究会がこのたび設立30周年を迎えました。

それを記念して9月中旬に東京で記念大会が行われました。全国から180名の参加があり180症例の症例展示や講演が行われました。イタリアやアメリカ、台湾や中国からも臨床家が集合しました。



“30年で学んだこと、次世代に伝えたいこと”と題するシンポジウムがあり、院長は6人のシンポジウムの演者の一人として講演しました。

歯科関係の出版社などの取材もあり内容は近く歯科の会誌に載るとのことです。



また全国の矯正歯科の専門医らで長期に安定している200症例をもちいて研究を行い展示しました。この内容は10月に東京で行われる日本矯正歯科学会において発表されることになりました。

副院長はアレキサンダー先生の症例審査を受け念願のAAAを獲得しました。

田中先生は記念大会に先立って行われた基礎コースに参加しました。



田中先生が基礎講習会に参加しました

田中 沙織

今回初めて九月の半ばに開催された Dr.アレキサンダーのプリンシプルコースに参加しました。コースを受講する前にアレキサンダー先生の本で予習をしていた

ので、直で先生の講義を聞くことで大変勉強になり充実した三日間でした。また様々な症例を見せて頂き大変貴重な時間でした。

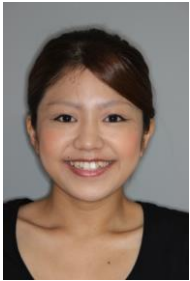
アレキサンダー先生の矯正は複雑ではなくいかにシンプルで無駄な動きをせず治療を行う事に重点を置いているのかを実感しました。

プリンシプルコースを受けてから、現在矯正治療中の患者様の治療に対する意欲を

かきたてられました。今回学んだ事を日々の治療にしっかり生かしていきたいと思っています。



衛生士：大林の矯正日記 6



先月は全然咬んでいなかった左側が今回の前歯の四角のゴムで良く咬みました。

実際自分自身、目に見えて分かる変化なら頑張ろうと思ひ頑張れますが、目に見て分からない変化の事ってなかなか頑張る気が起こらない方もいてると思いますが矯正の終盤はゴムが凄く大切です！！

矯正治療は歯並びが綺麗に並んだら終わりではなく、「歯並びが綺麗になることと前歯も奥歯もきちんと咬んでいることが大切です」歯並びはブラケットやワイヤーで綺麗にすることはできますが最後のゴムは患者様の協力が必要になり、協力度により期間が左右されます。なので先生に指示されたことは出来る限り頑張っって早く矯正治療を終えましょうね！！